

(別紙様式)

【事業区分：組織力・経営力向上のための自主企画研修等】

二戸（ニコ）りんどうの会

○グループの紹介

J A新しいわて二戸（二戸地区）の女性りんどう生産者で、平成 30 年に結成、相互の交流促進及び技術研鑽を図ってきました。これまでの活動を通じ、りんどうの色々な使い方を研修し、自分たちで加工品制作に取り組みはじめました。



○人数

6 人（うち女性 6 人）

○経営区分

農業 6 名

○事業目的

今年度は本事業を活用し、コロナ禍前との花の流通状況の違いや、加工品のニーズ把握のため市場調査を行うなど、更なる技術習得を図ることで、取組意欲を向上させるとともに、会として加工品販売に取り組みました。

○事業実施実績

実施内容 (具体的な内容・方法)	時期	場所	備考
1 先進地視察研修 (首都圏の花の流通調査)	11 月 2 日～3 日	東京都 榊大田花き 都内フラワーショップ	
2 りんどう加工品販売活動 (地元 JA 収穫祭での販売、JA 新しいわて 女性部大会で他女性花きグループと販 売)	10 月 14 日 11 月 8 日	JA 新しいわて二戸支所 盛岡市姫神ホール	
3 意見交換会	1 月 25 日	宮城県内	

○活動の成果

- ・ はじめての販売活動では、陳列の工夫や消費者との会話が大事であることなどに気づきました。販売品についても目玉商品が必要であることなど、今後の活動に向けて、色々と学ぶことができました。
- ・ 東京都内のフラワーショップや榎大田花きを訪れ、今後の作品作りの参考とするため、多様な加工品や花材などを研修してきました。自分たちのドライフラワーも持参し、販売店の方に「使用してみたい。」とお願いいただき、今後の作品づくりの意欲が湧きました。



持参したドライフラワーを紹介



東京都内フラワーショップでの研修



販売活動の様子



シャクヤクのドライフラワー



ドライフラワー加工品

○次年度に向けて

- ・ 販売をする時のレイアウトやお客様との対応などの課題に対応しながら、今年度お世話になった JA 収穫祭、JA 女性部大会等での加工品販売活動の継続をしていきたい。
- ・ 保存方法などに注意しながら、りんどう・シャクヤク等のドライフラワーづくりをしていきたい。
- ・ 仲間と意見交換しながら、背伸びせず身の丈にあった活動を進めていきたい。